

社団法人日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）事務局

JAPIC 事務局より、毎週木曜日にウィークリー・レポートとして、活動報告と併せて委員会開催予定などをお届けします。

【今回のトピック】

◆ 首都圏委員会・検討ワーキンググループが活動開始

昨年 8 月に発足した首都圏委員会（委員長 岸井隆幸日本大学教授）では、委員会発足後の政権交代による国の審議会中断等の影響で、活動の内容や検討スケジュールの見直しを行ってきた。

都市政策に関する方向感が未だ定まらない中であっても、首都圏が国の成長エンジンになるべきビジョンを創るという基本的方針の下、昨年度末より、具体的な検討課題を設定し、公募参加型のワーキンググループ（以下、WG）による機動的な活動スタイルでの活動を開始した。

その第一弾として 11 社の参加を得て、3 月 11 日（木）に「未利用エネルギーを活用した低炭素型都市インフラ整備 WG」がスタートした。その目標とすべきビジョンは「都市活動が活発である都心・首都圏であるからこそ、都市に賦存する未利用エネルギーを徹底的に活用し、低炭素社会実現に寄与する都市インフラを構築すべき」というものである。4 月 9 日（金）には第 2 回目のミーティングを行い、低炭素型都市インフラのビジョン、検討すべき具体的課題など、検討の枠組みに関する活発な議論が行われた。今後、関連する現行法規制や制度の運用等、ビジョン実現のための様々な障壁や弊害を抽出・整理し、提言の取りまとめを行う。また、今後も他の具体的テーマを募り、複数のWGを立ち上げ、活動の活発化を図る予定である。

以上